

口蹄疫等の発生予防対策を徹底 しましょう！

韓国、中国など東アジア地域では、口蹄疫の発生が継続しており、また、ロシアやポーランドではアフリカ豚コレラが発生しています。これから夏期休暇の時期を迎えるに当たり、海外への渡航者も増えることから、国内へのウイルスの侵入リスクはますます高くなります。このことから、**畜産関係者は口蹄疫等の発生地域への渡航は、可能な限り自粛して下さい。**

なお、渡航する場合には以下の点に留意してください。

《海外渡航に当たっての留意事項》

- ①農場、家畜市場、と畜場等の家畜関連施設には立ち入らない
- ②動物との不用意な接触を避ける
- ③肉製品等は日本に持ち帰らない
- ④帰国の際には、到着した空海港の動物検疫所カウンターに立ち寄り、家畜防疫官の指導を受ける

《帰国後の留意事項》

- ①帰国後一週間、衛生管理区域には立ち入らない
- ②海外で使用した衣服及び靴を衛生管理区域には持ち込まない

毎週月曜日には、家畜衛生対策の点検を行いましょう！

飼養している家畜に異状がみられた場合には、直ちに獣医師、または家畜保健衛生所に連絡ください。

〒035-0072 むつ市金谷2丁目18-25

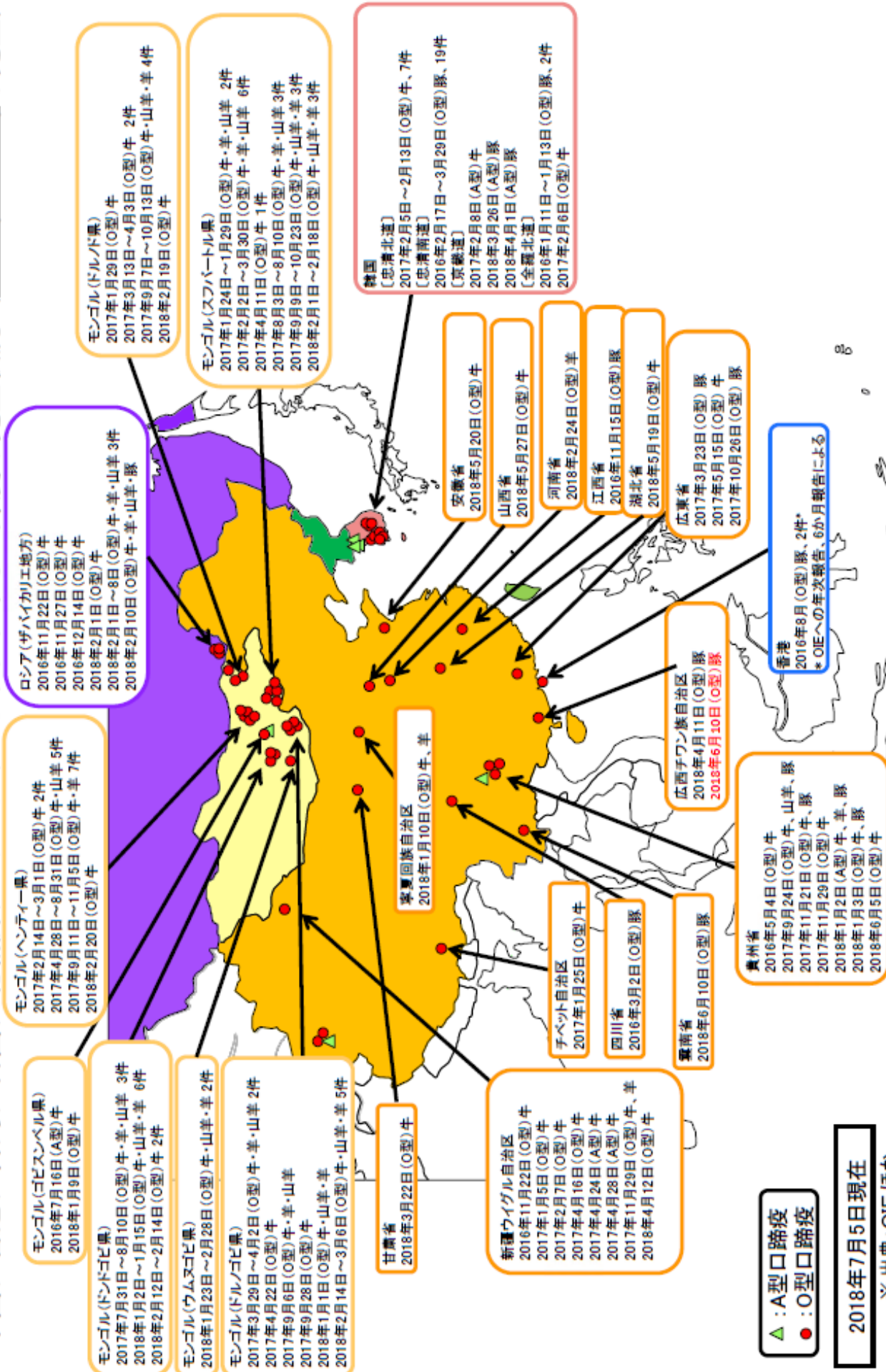
電話 0175-22-1254

FAX 0175-22-1259

夜間及び休日の連絡先 090-5841-6810

下北地域県民局地域農林水産部むつ家畜保健衛生所 むつ地区家畜衛生推進協議会

中国、香港、台湾、朝鮮、韓国、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況（2016年1月以降の発生）



2018年7月5日現在
 ※ 出典：OIE ほか
 ※ 日付は発生日(各々の事例が初めて観察された日)
 ※ ロシアは東アジアの近接地域に限る